

MCN REPORT

「令和」スタート。 夢に向かってダッシュ

Vol. 39
2019.5



看護学部・大学院入学式(5ページ)



令和時代に向けた夢は(3・4ページ)

主な内容

新任副理事長・理事就任ごあいさつ	1
連携協力協定病院紹介（伊勢赤十字病院）	2
令和・スタートダッシュインタビュー	3・4
卒業生の進路・資格取得状況	6



大学マスコット
キャラクター
「みかんちゃん」



新任副理事長・理事就任ごあいさつ

公立大学法人である本学の法人理事の任期満了等に伴い、本年4月1日付けで、新しい副理事長、理事が就任いたしました。

副理事長

笠谷 昇 (かきたに のぼる) (事務局長)



この度、副理事長・事務局長に就任いたしました笠谷です。本学での勤務は初めてですが、これまでの経験等を生かしながらか、しっかりと職責を果たして参りたいと思います。

さて本学は開学以来、地域・関係機関の皆さまのご支援を賜りながら、看護職者の育成等に取り組み、本県の保健医療・看護の分野の質の向上に貢献して参りました。

人生100年時代を見据え、全ての方が元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会をつくるのが重要な課題になる中、こうした社会を保健医療・看護の面から支える看護職者の重要性は、ますます高まってきています。

本学として使命を全うできるよう、菱沼理事長・学長の下、教職員が一丸となり、これからもしっかりと取り組んで参ります。地域・関係機関の皆さまには、今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

教学研究担当理事

小松 美砂 (こまつ みさ) (学生部長)



本年4月から教学研究担当理事・学生部長に就任いたしました。令和という新しい時代に、本学もさらに発展することができるよう尽力したいと思っております。

新たな取り組みの一つとして、本学では平成30年度に1年生を対象とした特別講義「三重を知ろう」を開講し、三重県知事による講演やシンポジウムを行いました。今年度は、住民

の方々とふれあいや町の散策を通して三重県の文化や地域性を学ぶためのフィールドワークも加え、学生が三重県の魅力や暮らしについて考える機会を設けております。

今後学長のもと教員一丸となり地域特性をふまえた看護教育を推進し、社会に貢献できる看護職者の育成に努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

企画情報担当理事

浦野 茂 (うらの しげる) (メディアコミュニケーションセンター長)



この4月より企画情報担当理事・メディアコミュニケーションセンター長に就任しました。一言で言えば、本学を中心とするさまざまな繋がりを仲立ちすることが自分の仕事と心得ていますが、進行中の社会情勢と情報環境の変化に合わせてその仕事をバージョン・アップしていくことがおこな課題と感じています。たとえばインターネットの浸透によって人びとを繋ぐ情報メディアも多様化が進んでい

ますが、そのなかで入学希望者や保健医療機関を含めた学外のさまざまな方々と本学を有効に繋ぐ方法を引き続き模索していく必要があるでしょう。さらには社会情勢の変化につれて人びとに求められる能力のあり方にも変化が見られつつありますが、その変化を見据えながら入学希望者と社会とを繋ぐ有効な仕組みを再検討していく課題もあると感じています。

非力ではありますが、本学が皆さまのお役に立てられるようにこうした課題に取り組んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

地域貢献担当理事

永見 桂子 (ながみ けいこ) (地域交流センター長)



本年4月1日付けで地域貢献担当理事・地域交流センター長を拝命いたしました。平成9年の開学時より本学教員として勤めてまいりましたが、変遷する地域社会の要請に応えながら、教育・研究の成果を還元していくこと、地域社会との密接なネットワークを基盤に連携・協働を深めていくことが公立大学である本学に課せられた使命であると改めて痛感

しております。

これからも県民のみなさまのニーズに応えられるよう、教員各自の専門分野を活かした生涯教育の提供、地域の特性やニーズに応じた看護研究支援、連携協力協定病院をはじめとした医療機関・行政機関との連携強化、卒業生への就業支援などとおして地域貢献機能のさらなる充実に向け、微力ながら尽力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

連携協力協定病院紹介

連携協力協定病院（伊勢赤十字病院）

平成28年11月に本学との連携協力協定を締結した日本赤十字社伊勢赤十字病院様から、病院や看護部のめざす姿や職場づくりについて教えていただきました。

「人を大切に思うココロをカタチにできる人」を育てる



伊勢赤十字病院は、地域の医療機関との連携の中で、救急医療・高度急性期医療を担う重要な使命があります。忙しい病院ではありますが、「一人ひとりを大切に思い、その人にとってのベストを考え実践ができる看護」を目指しています。



伊勢赤十字病院

●「断らない救急」

突然のけがや病気による苦痛・命の危機。当院は、救急患者の受け入れを24時間365日行っています。スタッフには、心身ともに不安定な状況にある患者さんやご家族の思いに寄り添い、適切な支援ができるための知識やスキルを身につけてほしいと思います。

思いは実践を導き、実践は必ず結果につながると信じています。よい看護をしたいという思いとその仲間がいることで人は育ちます。当院の長い歴史の中で培われてきたその風土をこれからもさらに発展させていきたいと考えています。

その上で、三重県立看護大学との連携は欠かせません。実習、研究、人事交流等でさらに連携を強化し、人材育成、看護の質の向上に取り組んでいきたいと思ひます。（伊勢赤十字病院 看護部長 松本ゆかり）

●「ジェネラリストとスペシャリスト」

みなさんは自分のキャリアについてどう考えますか？私は、まずは特定の領域に限らず、多様な背景やニーズを持つ患者さんに対応できる幅広い知識や技術を身につけた看護師を育成したいと考えています。スペシャリストを目指す人には病院としての支援もしています。



ハートマーク



当院では三重県立看護大学の先輩・後輩のつながりもあります。歓迎会では先輩の姿を見て新人の不安も和らぎました。

病院情報

日本赤十字社 伊勢赤十字病院 [明治37年2月1日開設]

- ❖ 病床数：一般病床数：655床（一般651床、感染症4床）
- ❖ 診療科目：血液内科、感染症内科、肝臓内科、糖尿病・代謝内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、精神科、小児科、外科、乳腺外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、眼科、頭頸部・耳鼻咽喉科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、腫瘍内科、歯科口腔外科、緩和ケア内科、形成外科、病理診断科、総合内科、脳血管内治療科（休診中）、リウマチ・膠原病科、新生児科（35科）
- ❖ 職員数：1,352人（うち看護師・助産師 798人）（平成31年4月1日現在）

連携協力協定病院一覧

県内11病院

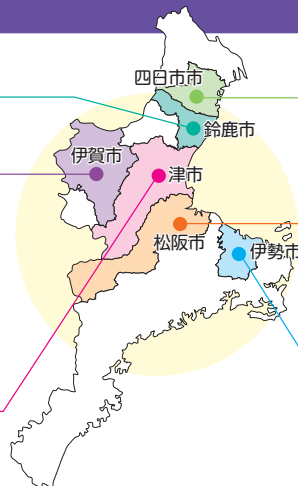
- 三重県厚生農業協同組合連合会 鈴鹿中央総合病院

- 新 ● 社会医療法人畿内会 岡波総合病院



平成31年3月締結

- 三重県立こころの医療センター
- 独立行政法人国立病院機構 三重病院
- 三重県立一志病院



- 地方独立行政法人 三重県立総合医療センター

- 松阪市民病院
- 社会福祉法人恩賜財団 済生会松阪総合病院
- 三重県厚生農業協同組合連合会 松阪中央総合病院

- 日本赤十字社 伊勢赤十字病院
- 市立伊勢総合病院

（令和元年5月31日現在）

「平成生まれ」が 夢をかなえる「令和」に

時ならぬカウントダウンとともに、元号が「平成」から「令和」へと移りました。30年ぶりとなる改元ウィークは、10連休というおまけつきでした。学生たちはその時何を感じ、どう受け止めたのか。2年生のみなさんに聞きました。

10連休の過ごし方は？

鈴木： 年明けのようで、年末・年始よりも楽しく過ごしました。帰省して友人と盛り上がりたり、社会人の人たちと一緒に草野球をして20点以上取られてぼろ負けしたり、楽しかったです。

馬淵： 2年生になって下級生ができたので、サークルで新歓交流の場を作るなど、後輩たちとの過ごし方に気を使っています。勉強でも課題に追われているので、少し落ちつきたいです。10連休はゆっくりできました。6月8日の夢緑祭(学祭)の運営をしっかりとやり終えて、勉強やサークルに集中したいです。

渡辺： 京都に行ったら、「令和」と書かれたお菓子や土産物がたくさんありました。インスタグラムでも「令和おめでとう」。世間がお祝いブームで、私も新しくバイトをがんばってみたりして、変わってみようかなと思いました。

森： 連休の初めは早めに課題とかを片付けて、改元の瞬間を友人と過ごせたらいいなと考えていましたが、気のゆるみで最初から遊んだりして、



令和の始まりは友人とアミューズメント施設で迎えることになりました。

平成から令和へ、「改元」に立ち 会ってどう感じましたか？

鈴木： 令和から成人になるので少し考え方を改めます。20歳になるとお酒やたばこのことをしっかり考えないといけないし、国民年金もきちんと払って。18歳からになった選挙権で、これからの日本を担う世代として政治にも関心をもっていきます。

看護師もかかわる個人情報の扱いは平成に急に厳しくなったけど、令和にはもっと厳くなるかも。でも東京五輪やリニア開通など楽しい未来が想像できます。

馬淵： 平成は義務教育からの流れで勉強とかをしてきた時代。大学生になり、一人暮らしをして自分の学ぶ教科とかを自分で決めるようになって、何を学びたいのかをしっかりと考えるようになりました。テレビで「平成最後」とか、「令和初」とかやっていましたが、ぼくらは令和初の成人となる世代です。令和時代はぼくら次第。

森： ぼくは早生まれ(3月)なので、西暦2000年生まれで、「ミレニアムベイビー」と言われてきました。元号が変わり、また新しく何かが始まる感じがしています。でも、書類に「令和」って書くのは、まだ慣れません。

平成の31年間は、自然災害や事件などいろいろなことがありました。令和の時代がどんな年になるのか、ワクワクしています。



わたなべ かな
渡辺 香菜さん
[2年生]



すずき ゆうと
鈴木 雄登さん
[2年生]



まぶち たかひと
馬淵 貴仁さん
[2年生]



もり かいと
森 海渡さん
[2年生]

渡辺： 私たちは、「ゆとり教育」が終わり勉強が難しくなった世代です。先輩の時はなかった土曜日の授業が自分の学年から始まって、昭和に戻る感じがしました。

令和になって平成生まれが古くなった感じ。今までは「昭和生まれ」と聞くと古いイメージだったけど、これからは令和生まれの人に「平成生まれ」って言われるのがちょっと……。

を助けたり、私自身が結婚して子どもを3人くらい産んで、少子化を食い止める役割を果たせたらいいと思います。

馬淵： 大学生になって、一人暮らしやアルバイトも経験して、自分が何も知らないということを思い知りました。感じることもいっぱいあったので、海外に行ったり、視野を広く持っているのを見たいです。

高齢化社会で高齢者に目が行きがちだけど、子どもの数も減っています。どっちかということではなく、広く見ていきたいんです。

では最後に、令和時代に向けた夢や志を

鈴木： ぼくにとっての平成は自由奔放に過ごした子ども時代でした。これから実習や国家試験、そして就活を経験して社会に出て、結婚して子どもができたり——。令和時代は人生の中でも一番大変な時だけど、楽しくもあると思います。まずはこの大学での学生生活をこなして、きちんと看護師になります。

森： しっかりとした考えをもって働いていく大人になるということです。この大学で看護を学んでいるので、まずは看護師として技術と経験を身に着けたいです。そうしたスキルを生かして、自分の夢である介護の面からも少子高齢社会を支えていきたいです。

渡辺： 高齢化社会で、看護師になっても高齢者とかかわることが多くなると思います。人生経験の豊富な高齢者を尊重しながら、健康に長生きしてもらえるようにやっていきたいです。一方で少子化でもあるので、小児科の看護師として子どもたち



**大切な夢についてお聞かせいただき、ありがとうございました。
皆さんの輝かしい未来を、本学は全力でサポートします。
夢に向かって、ダッシュ!!**

大学の出来事

大学の出来事

看護学部卒業式・大学院修了式

3月16日(土)

3月16日(土)、本学講堂で平成30年度看護学部卒業式・大学院看護学研究科後期修了式が挙行されました。

卒業生・修了生を代表して鹿島彩香さんと上杉佑也さんがそれぞれ謝辞を述べました。

平成最後の卒業生・修了生となった104人の若者たちは、本学で身に着けた知識と技術を携えて、それぞれの道を歩みはじめました。



地域交流センター報告会

3月19日(火)

3月19日(火)、本学大講義室で平成30年度地域交流センター活動報告会が開かれました。

同センターは、地域の保健・医療・福祉の充実・発展のために本学の教育・研究の成果を還元する地域貢献活動の拠点です。

三重県、県内の病院・福祉関係者のほか、今回初めて地域からも参加者を募った報告会では、同センターが専門性を生かして実施した地域貢献事業や、三重県からの受託事業など10項目について発表と特別展示を行いました。



看護学部・大学院入学式

4月2日(火)

4月2日(火)、本学講堂で平成31年度看護学部・大学院看護学研究科入学式が挙行されました。

看護学部入学生100人・大学院入学生9人を代表し、高木美玖さんが入学の決意を宣誓しました。

入学生が社会に貢献できる知識と技術を習得できるよう、本学は丸丸となって支援していきます。



ようこそ先輩・就職説明会

5月8日(水)

5月8日(水)、本学大講義室で「ようこそ先輩」が、引き続き食堂・学生ホールで「就職説明会」が開かれました。

県内の医療機関や行政で活躍する卒業生から進路や国家試験、大学院などのお話を伺った

在学学生は、県内の医療機関・行政機関のブースでの就職説明会に臨みました。

第一線の経験者からの現場や実地のお話に接し、在学学生は看護職の仕事についてさらに理解を深めることができました。



認定看護師教育課程「認知症看護」の開講

5月10日(金)

5月10日(金)、本学地域交流センターが運営する認定看護師教育課程「認知症看護」の入学式が挙行されました。

この課程は、特定看護分野において熟練した看護技術と知識を用いて高水準の看護を実践す

る認定看護師((公財)日本看護協会認定資格)を養成するために開催する講座で、認知症看護の実践に必要な知識と技術の習得をめざします。

看護師である30人の研修生は、来年2月までの10か月間、講義や実習に取り組みます。



●キャンパスカレンダー (4月~6月)

4月2日(火)	入学式	5月22日(水)	特別講義「三重を知ろう」(フィールドワーク/高田本山専修寺)
5日(金)	前期(4~9月)授業開始	6月3日(月)~15日(土)	マヒドン・グラスゴー大学生本学短期研修
5月8日(水)	開学記念日 ようこそ先輩・就職説明会	8日(土)	夢緑祭
10日(金)	三重県立看護大学地域交流センター 認定看護師教育課程「認知症看護」入学式	10日(月)~8月2日(土)	助産学実習(4年生)
13日(月)~31日(金)	看護総合実習(4年生)	26日(水)	特別講義「三重を知ろう」(三重県知事による講義)

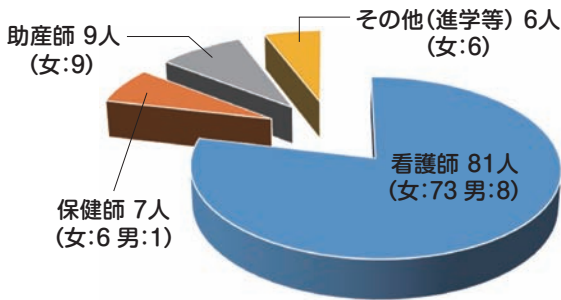
データでみるみかんだい

卒業生の進路

平成30年度の卒業生は、103人のうち97人(94.2%)が就職しました。就職率は99.0%でした。

看護教育・研究の中核機関として地域の看護力向上をめざす本学では、「ようこそ先輩・就職説明会」や「就職講座」の開催などにより、県内医療機関や行政機関の皆様と連携し、一体となって実効ある学生支援を行ってまいります。

●平成30年度卒業生(103人)の資格別進路



●平成30年度卒業生の主な就職先

県内

三重県立総合医療センター
伊勢赤十字病院
三重大学医学部附属病院
桑名市総合医療センター
済生会松阪総合病院
三重県
市立四日市病院
J A三重厚生連
鈴鹿中央総合病院
松阪市民病院
市立伊勢総合病院
伊賀市立上野総合市民病院
尾鷲総合病院

津市
鈴鹿市
松阪市
御浜町

県外

名古屋市立大学病院
名古屋大学医学部附属病院
名古屋第一赤十字病院
名古屋市立西部医療センター
岐阜大学医学部附属病院
大阪赤十字病院

資格取得の状況

平成30年度国家試験は、看護師が2月17日(日)、保健師が2月15日(金)、助産師が2月14日(木)に実施されました。本学4年生103人が看護師・保健師、10人が助産師試験を受験しました。平成30年度の看護職国家試験の結果は、右表のとおりです。

本学では国家試験をクリアするためにきめ細かな履修環境を整えて必要な知識と技術を教授しています。

さらに、国家試験対策講座や模擬試験、外部業者による補講の実施などにより、学生たちの取り組みを支援します。

また、学生で組織する国家試験対策委員会も活躍し、学生と教員が一丸となって、全員合格の目標達成に向け邁進しています。

●平成30年度看護職国家試験における本学の状況

(単位:人・%)

		看護師	保健師	助産師
本学	受験者数	103	103	10
	合格者数	102	85	10
	合格率	99.0	82.5	100.0
全国	合格率/新卒	94.7	88.1	99.9
	合格率/全体	89.3	81.8	99.6

●令和2年度大学院入試●

本学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)の令和2年度入学生を、募集します。カリキュラムの改正に伴って、コースや研究分野を新設するなど、募集内容が充実しました。

[カリキュラム改正のポイント]

- 修士論文コースと専門看護師(CNS)コースに加え、臨地教育者コースを新設
- 教育研究分野は、多彩な看護学の研究課題に対応できるように「人文社会看護学」「自然科学看護学」を設置し、13分野に拡充
- CNS(母性看護・精神看護)コースは、38単位制の教育課程

[入試日程]

	一次募集	二次募集
一般入試	令和元年9月2日(月)	令和元年12月7日(土)
機関長推薦入試	令和元年7月10日(水)	
学内推薦入試		
出願期間など	出願期間など、詳しくは本学ホームページ(http://www.mcn.ac.jp/)をご覧ください	

※機関長推薦入試…本学と「連携協力に関する協定」を締結した病院の長から推薦が得られる者が対象となります。

さらなる発展と人材育成の充実に向けて
 ~学生の修学支援のための基金への寄附の報告とお願い~

本学では開学20周年を契機に学生の修学支援に活用するための基金を創設し、平成29年9月に同窓会や後援会等の皆さまに寄附を募ったところ、多くの皆さまからご厚志を賜っております。

◆令和元年5月末現在の状況

寄附総額 5,920,000円

寄附者数 個人 48人

法人・組織 12団体



この基金は、「みかん大進学支援給付金」の財源として、三重県の保健・医療に貢献する意欲があり、本学への進学目的及び意志が明確であるにも

かかわらず、経済的理由により進学が困難な人への入学時の給付金に充てられます。

継続的に安定した学生への支援を可能とするため、引き続き、皆さまの格別のご協力とご支援をお願い申し上げます。

■お知らせ■

本寄附金は、総務大臣及び文部科学大臣の承認を得て、所得税の税額控除の対象となりました。詳細は事務局までお問い合わせください。(平成31年1月～令和5年12月寄附分)

お問い合わせ先 寄附に関すること:事務局企画総務課、給付金に関すること:事務局教務学生課



本学マスコットキャラクター「みかんちゃん」

三重県立看護大学の略「三看大(みかんだい)」の「みかん」に学生たちが持つ「優しさ」をイメージした大学キャラクターです。平成21年の法人化を機に学内からの公募で選ばれ活躍しています。

学章の由来

看護のイメージを高めてほしいという願いと、未来に向かって成長していく若者の姿を大小2つの翼とナースの「N」をモチーフにして表現しました。



「大学基準協会」の定める「大学基準」に「適合」と認定されています。

認定マークとは…法で定められた認証評価機関である大学基準協会の大学評価を受けて認定された大学に交付されたものであり、その大学が常に自己点検・評価に取り組んでいること、そして社会に対して大学の質を保証していることを示すシンボルです。



公立大学法人
 三重県立看護大学

〒514-0116

三重県津市夢が丘一丁目1番地1

TEL 059-233-5600(代)

FAX 059-233-5666

http://www.mcn.ac.jp/



広告

田中病院は 2018年7月1日に
 伊勢市大世古4丁目へ新築移転しました。

医療法人 田中病院

伊勢田中病院

内科/呼吸器内科/循環器内科/
 腎臓内科(透析/通院・入院)
 外科/消化器外科/整形外科



〒516-0079 伊勢市大世古4丁目-6-47

TEL(0596) 25-3111

FAX(0596) 27-5771

ホームページ http://www.isetanaka.jp/



広告

私たちがめざすのは
 いのちとところを救う看護です



地方独立行政法人

三重県立総合医療センター 看護部

四日市市日永5450-132 TEL059-345-2321(代表)

e-mail:sogohos@mie-gmc.jp http://www.mie-gmc.jp

